

広島修道院へようこそ

理事長 中島充人

修道院へようこそ

修道院は、創設者北村藤三郎翁が、儒学者、教育者だったことから、この名称となっています。子ども達に、そして大人の役職員皆に向けられた創設の想いで

様々な境遇から、好むと好まざるとに関わらず当院に来ることになった子ども達、そして子どもが大好きで、子ども達に寄り添ってその成長の支えになりたいと志す大人達に「**修道**」はやや重い響きがあるかもしれません。

でも、修道院で過ごした子ども達は、大人になった時に、修道院で暮らし、精一杯頑張った日々が、きっと「**心の糧**」となるでしょう。

また、ここで働く役職員は、子ども達の様々な課題を一緒に解決するために、必ず壁にぶつかります。施設に限らず保育園の職員も同様です。

「**道を修める**」とは、私達が、理想の養育、保育に向けて試行錯誤する日々の姿勢であり、私達のプライド・矜持でもあります。

私達はここでの仕事を一緒にしてみたいと希望される「**あなた**」に、お約束します。

- ① 子ども達の時間に合わせる勤務は容易でないこともあります。
あなたが将来結婚されても、出産、育児の時期を迎えられても、少しでも長く勤めていただけるように、働きやすい環境づくりに努力します
- ② 児童養護施設2施設、乳児院、保育園の各施設長が皆さんと同じ目線で、子ども達の養育、保育に日々一緒に取り組みサポートします。様々な研修やOJTであなたの成長を応援します。経験値を上げるためなど、希望による施設間の異動も可能です。
- ③ そして、皆さんの日々の「**修道**」の積み重ねの先には、卒院、卒園の時の「**感動**」という何物にも代えがたい「**報酬**」が、待っています。1年。2年、3年と長く子ども達と触れあえば、他の仕事、職業では味わえないような、お返しが待ってます。私も毎年もらい泣きをさせていただきます。
卒院生の言葉です。「**僕は(私は)修道院に来て毎日嫌で嫌で仕方なかった。でも、それと同じくらい、ここに来て良かったと今は思っています。〇〇先生本当にありがとう。**」

結びに、このサイトを読んでいただいた「**あなた**」に、私からのメッセージです。

ここの仕事は確かに容易ではありません。多くの子ども達に「**寄り添う**」とは、頭脳労働も、肉体労働もありますが、最も重要なのは「**感情労働**」です。子ども達との関りの中で、御自分の感情を出したり抑えたりする必要があります。難しいだけに、プロとしての訓練も経験も必要です。それだけに本当にやり甲斐のある仕事です。

ようこそ修道院へ、心より歓迎いたします。